

## 【注意事項】ご入稿前に必ずお読みください。

- 印刷入稿データは、Adobe illustrator 形式もしくは Photoshop 形式ファイルのみ受付可能です。
- illustrator ・ Photoshop のバージョンは Creative Cloud まで対応可。
- 必ず、ご注文の機種・タイプと同じテンプレートでご入稿ください。テンプレートがご注文内容と異なる場合、再入稿となります。また、最新バージョンのテンプレートをダウンロードしてご入稿ください。
- 印刷範囲が透明のケースのため、**印刷範囲全面に白ベタを印刷後、カラーの版を印刷いたします。**  
デザイン上、白ベタがご不要の場合は、ご注文の際、指定をしてください。  
※白ベタを塗らない場合は、透明部分に直接印刷することになり、下地が透け、絵柄が目立たなくなりますので、ご注意ください。部分的に白ベタの印刷をご希望の際のデータ作成方法については、2ページ目「クリアケース印刷のワンポイントテクニック」をご参照ください。
- データのカラーモードはすべて「CMYK」です。特色やRGBでのデータをご入稿された場合は、**すべてCMYKに変換しての印刷**となりますので、データと仕上がりの色味が大きく異なる場合がございます。  
※原則的にデータチェック対象外になりますのでご注意ください。
- iPhone 13 Pro(6.1)・iPhone 13 Pro Max(6.7)・iPhone 14 Pro(6.1)・iPhone 14 Pro Max(6.7)はケースの形状上、印刷部分周りに若干の白いモヤのような物が発生する場合がございます。  
ごく僅かなインクが付着する事で生じる現象です。あらかじめご了承ください。

### Illustrator でのデータ制作

- **フォントは必ずアウトライン処理**を行ってください。
- データに画像を使用した場合、「埋め込み画像」「リンク画像」どちらかで配置してください。  
「リンク画像」で配置する場合、ご入稿の際、リンクしている画像も送っていただく必要がございます。  
illustratorファイルとリンク画像は、同じフォルダ内に同梱してください。
- 配置される**画像データの解像度は、原寸の画像サイズで最低300dpi(推奨は350dpi)**を推奨しております。  
※低解像度の画像を配置されている際、原則的にデータチェック対象外になりますのでご注意ください。  
また、画像データが低解像度による仕上りの品質に対しての責任は負いかねますので、ご了承ください。

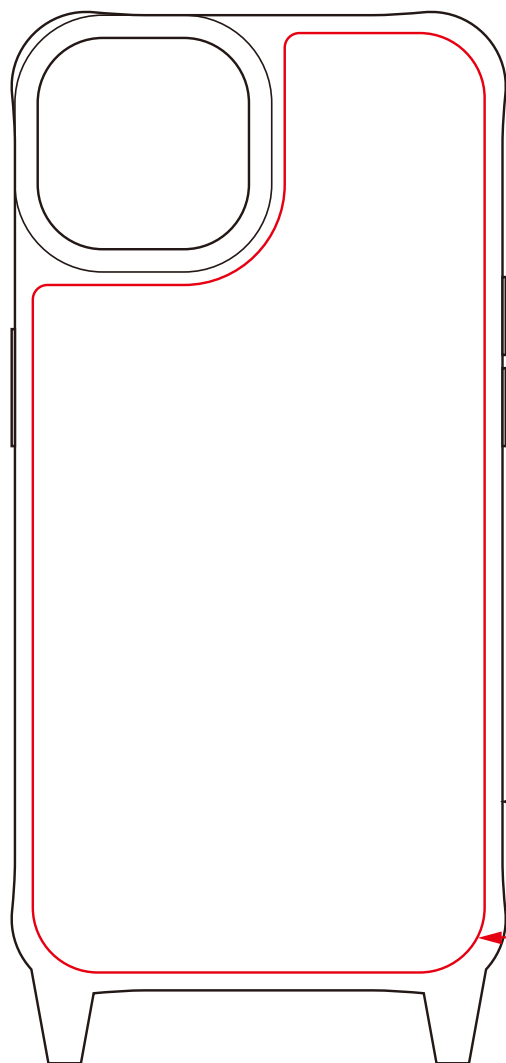
### Photoshop でのデータ制作

- **フォントは必ずラスタライズ**を行ってください。
- **レイヤーは結合せず**、PSDデータのままで入稿ください。  
また、レイヤー名に(入稿時非表示)と記載があるレイヤーを非表示にしてください。
- 入稿ファイルのカラーモードを**RGBに変更しないでください。**
- テンプレートの画像解像度(350dpi)は変更しないでください。

### 著作権・肖像権の取り扱いについて

「著作権・肖像権の侵害」に該当する内容のものに関しては印刷をお断りさせて頂いております。  
弊社にて「著作権・肖像権の侵害」の可能性があると判断した場合、ご注文をキャンセルさせて頂きます。

# テンプレートデータの各項目について



● ケース本体の外側ライン  
側面までは印刷されません。

● 印刷範囲  
切れては困る文字やデザインは、  
このガイドより内側に収めてください。

## ○クリアケース印刷のワンポイントテクニック

デザイン上、部分的に白ベタの印刷をご希望の際は、以下の方法でデータを制作の上、ご入稿の際、指示事項欄に「アウトラインパスあり」および「部分白ベタあり」と明記してください。

※白ベタ指定に半透明やぼかしは使用しないでください。  
再入稿の対象となりますのでご注意ください。

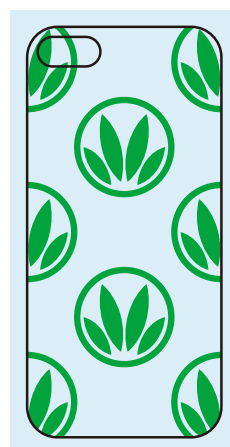
ブルー部分は透明の箇所です。

### Illustrator でのデータ制作

右図の様に、白ベタ用のレイヤーを新規作成して頂き、白ベタの塗りたい範囲のアウトラインパスを必ずグレースケールで作成ください。

### Photoshop でのデータ制作

ご入稿データ内に白ベタを塗りたい型の作業用パスを作成していただくか、新規レイヤーにK100%で白ベタ範囲を塗りつぶしでご指定ください。



デザインレイヤー

+

別レイヤーで  
作成



白ベタ用レイヤー